

*受講にあたっては、タイムテーブルに変更等が生じていないか、学問祭ウェブサイトで事前確認してください

タイムテーブル

対面+遠隔授業 遠隔授業

対面+遠隔授業：教室で実施（オンラインでも同時配信） 遠隔授業：オンラインで実施（教室での授業はありません）

	2コマ 10時45分～12時15分	3コマ 13時05分～14時35分	4コマ 14時50分～16時20分	
8/24 水	脳科学と ブレインマシンインタフェース ※ 講師：川人光男（株式会社国際電気通信基礎技術研究所ほか）	原子核とハドロン物理学 講師：比連崎悟（奈良女子大学）	臨床心理学における 感情と思考 講師：梅垣佑介（奈良女子大学）	奈良教育 大学会場
8/25 金	正倉院宝物の源流を考える 講師：吉澤悟（奈良国立博物館）	ならことば考 —方言や奈良由来のことばを愉しむ— 講師：小崎誠二（奈良県教育委員会）	社会的・経済的エンパワーメントのための インクルーシブデザイン・プロセスの活用 ※ 講師：ジュリア・カセム（ロンドン芸術大学客員教授）	奈良女子 大学会場
8/26 土	今を知るための考古学 講師：神野恵（奈良文化財研究所）	絶滅危惧種を守るか 講師：小長谷達郎（奈良教育大学）	天職との出会い 講師：後藤景子（奈良工業高等専門学校前校長）	奈良女子 大学会場
8/27 日	お休み (単位履修外の自由参加企画を実施する場合は学問祭ウェブサイトでお知らせします)			
8/28 月	数学における「無限」について 講師：高橋亮（奈良教育大学）	食物のにおいはどうしてできる 講師：高村仁知（奈良女子大学）	ESD(持続可能な開発のための教育) に基づく日本語の観察と法則の発見 講師：加藤久雄（奈良教育大学）	奈良教育 大学会場
8/29 火	遺伝子改変マウスを使って遺伝子の本当の働きを明らかに しよう！—小規模大学から出す世界基準の研究成果— 講師：渡邊利雄（奈良女子大学）	知られざる「へき地教育」×SDGsの世界 —山間・離島の小規模校に未来を探る— 講師：河本大地（奈良教育大学）	美とデザインの理論 講師：藤田盟児（奈良女子大学）	終日 オンライン
8/30 水	スピノフDAY ～学問祭ならではの交流や知的刺激を追求する企画の日～ (単位履修外の自由参加イベント。内容は決定次第、学問祭ウェブサイトの「関連イベント」にアップします。)			

通常時間より
5～10分後ろ倒し
になっています

※：奈良国立大学機構アドバイザーボードメンバー

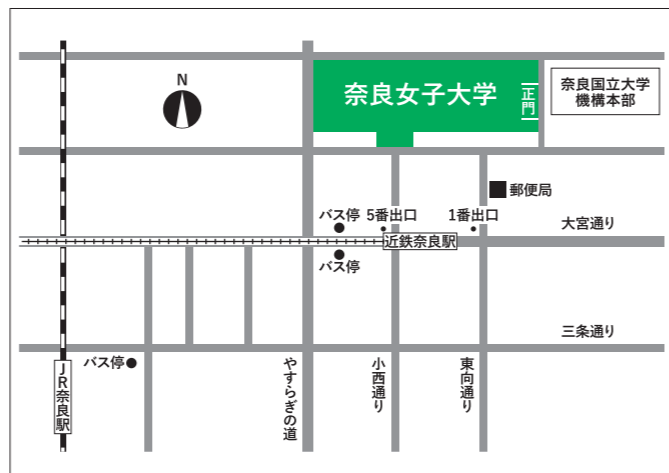


会場キャンパスへのアクセス

奈良教育大学 バス停「高畑町」から徒歩1分



奈良女子大学 近鉄奈良駅1番出口から徒歩約5分



*講義をおこなう教室については学問祭ウェブサイト等で告知します。

国立大学法人
奈良国立大学機構
NARA NATIONAL INSTITUTE OF HIGHER EDUCATION AND RESEARCH

奈良教育大学 教務課 教務係
〒630-8528 奈良県奈良市高畑町 TEL.0742-27-9124
E-mail. kyoumu-tanto@nara-edu.ac.jp



奈良女子大学 学務課 学務係
〒630-8506 奈良県奈良市北魚屋西町 TEL.0742-20-3233
E-mail. gakumukakari@jimu.nara-wu.ac.jp



教養科目*「諸学への誘い」

2023年度 開講案内パンフレット

知る喜び、考える楽しみ、
ガクモンは、祝祭だ!

2023年8月24日(木) - 30日(水)

主催 国立大学法人 奈良国立大学機構
奈良教育大学 × 奈良女子大学

会場 両大学にてリレー開催およびオンライン

*奈良教育大学では「教養科目」、
奈良女子大学では「教養科目群」
として単位認定



学問祭

よる講座

2023

学問祭って何？

学問の面白さや奥深さを感じることでできる真夏の1週間。さまざまな分野の専門家が1コマずつ登場します。興味や関心を深めるもよし。新しい分野の扉を叩くもよし。うまく組み合わせて受講すれば、自分なりの知的世界を構築するためのヒントや刺激にきっと出会えます。

履修登録しない聴講もOK？

はい。「単位取得は不要だが、ぜひ聴講したい講義がある」といったケースも歓迎です。大学院生や教職員もOKです。参加方法等は、学問祭HPにて確認ください。

単位になるの？

はい。奈良教育大学生は教養科目「諸学への誘いA」(2単位認定)もしくは「諸学への誘いB」(1単位認定)を、奈良女子大学生は教養教育科目「諸学への誘い」(1単位認定)を履修登録してください。前期科目です。昨年度に続き2度目の履修でも単位認定されます。

履修や単位認定の方法は？

全講義のうちから自由に8コマ以上を受講し、レポートを作成。課題はシラバスなどで周知します。2単位型履修である「諸学への誘いA」の単位認定方法は奈良教育大学生向けに別途お知らせします。

対面+遠隔授業：教室で実施(オンラインでも同時配信)
 遠隔授業：オンラインで実施(教室での授業はありません)

学問祭HP



開講形態は？ 教室はどこ？

奈良国立大学機構に属する奈良教育大学と奈良女子大学の共通科目として両大学生が履修します。会場となるキャンパスや各講義の開講形態については裏面のタイムテーブルを見てください。オンライン受講も可能です。

8/25 金 2コマ

正倉院宝物の源流を考える

講師：吉澤悟(奈良国立博物館)

正倉院にはシルクロードの彼方から運ばれてきた文物や、それを模して中国や日本で作られた品などさまざまな宝物が収蔵されています。ガラス器や金銀器、銅鏡など、代表的な正倉院宝物の故地や源流を探り、天平文化の国際性について考えてみます。

8/25 金 3コマ

ならことば考 —方言や奈良由来のことばを愉しむ—

講師：小崎誠二(奈良県教育委員会)

奈良時代と呼ばれる時代があるように、奈良には古くから人々の生活があり、豊かな文化が育まれてきました。古事記、万葉集にも登場する今も残る地名や、奈良で使われている方言など、奈良に由来することばの数々を紐解いてみましょう。

8/25 金 4コマ

社会的・経済的エンパワーメントのための インクルーシブデザイン・プロセスの活用

講師：ジュリア・カセム(ロンドン芸術大学客員教授)

このプレゼンテーションでは、私の海外および日本を拠点としたデザイン活動のケーススタディに焦点を当て、インクルーシブデザインが、一般的に排除されたグループの社会的・経済的エンパワーメントのための創造的ツールとしてどのように利用できるかを説明する予定です。

8/26 土 2コマ

今を知るための考古学

講師：神野恵(奈良文化財研究所)

今を知るために、未来を考えるために、考古学はどのように役立つのでしょうか。考古学は過去を知るだけではなく、自分たちが生きる「今」を知り、未来へと導くオモシロイ学問なのです。

8/26 土 3コマ

絶滅危惧種を守れるか

講師：小長谷達郎(奈良教育大学)

近年、昆虫類においても深刻な絶滅の危機に追い込まれた種が増加しています。絶滅危惧種に起こっていることや保全の取組、凍結保存などの新技術に関する研究を紹介しつつ、生物学の役目やあり方についても議論します。

8/26 土 4コマ

天職との出会い

講師：後藤景子(奈良工業高等専門学校前校長)

女子大学と教育大学に在籍し、高等専門学校に移りました。教育と研究、まさに天職との出会いです。快適な環境の創出をめざして、女性だけの研究集団で行ったプラズマを用いた表面改質やプラズマ、超音波、ファインパブルなどを利用した洗浄方法について紹介します。

8/28 月 2コマ

数学における「無限」について

講師：高橋亮(奈良教育大学)

実数とは何か?という疑問から出発し、「無限」に関連する数学的性質をおおざっぱに眺めていきます。また、「無限」を考える意味や必要性についても触れていきます。

8/28 月 3コマ

食物のにおいはどうしてできる

講師：高村仁知(奈良女子大学)

食物のおいしさを左右する「におい」。におい成分の生じるメカニズムについて説明します。

8/28 月 4コマ

ESD(持続可能な開発のための教育)に基づく日本語の観察と法則の発見

講師：加藤久雄(奈良教育大学)

毎日、使っていることばをじっくり観察してみることは、本当に楽しいことです。「お父さん」と「父」は、語として同じでしょうか?「おとうさーん」と呼んでも「ちちー」とは呼べません。そんな発見の旅に、みなさんと一緒に出かけてみたいと思います。

8/29 火 2コマ

遺伝子改変マウスを使って遺伝子の本当の働きを明らかにしよう! —小規模大学から出す世界基準の研究成果—

講師：渡邊利雄(奈良女子大学)

培養細胞をいじるだけでは遺伝子の本当の働きは分かりません。マウス個体を使うことで「初めて分かる」こともあります。小規模大学でも他大学との共同研究で面白い研究ができることを先輩たちの成果から皆さんに知ってほしく、これから目指してほしい。

8/29 火 3コマ

知られざる「へき地教育」×SDGsの世界 —山間・離島の小規模校に未来を探る—

講師：河本大地(奈良教育大学)

世界には広大な「田舎」が広がっています。しかし、人類がそこから撤退し都市部に集住する未来はあり? 教育とのかかわりで探ってみましょう!

8/29 火 4コマ

美とデザインの理論

講師：藤田盟児(奈良女子大学)

美とデザインは、相異なる性質をもつ事象ですが、類似したものと考えられる人が多いようです。これら2つの価値を、建築デザインを素材にして解説して、AI時代に重要性が増す「美」について理解してもらいます。

